

山形県

(人 口) 1,068,027人 (R2.10.1現在)
(面 積) 9,323km²
(ふるさと納税寄附額) 130,254件
(令和3年度) 2,473,360千円

山形県は東北の日本海側に位置し、四季折々に表情を変える豊かな自然に恵まれ、日本一の生産量を誇るさくらんぼをはじめとする果物の数々に加え、17のそば街道、51の酒蔵、19のワイナリーがあり、1年を通じて美食美酒を味わうことができます。また全ての市町村に湧出する温泉や「山形花笠まつり」などの様々なまつり、出羽三山や山寺など、歴史と文化を堪能できるスポットなど、観光資源も数多く存在しています。



銀山温泉

大正ロマンあふれる温泉街で、ガス灯と夜霧に濡れた石畳が映える夕景や、冬の雪景色は絶景です。



出羽三山

山岳信仰の場として知られ、国宝「羽黒山五重塔」をはじめ、多くの歴史的建造物や史跡が存在しています。



牛肉

山形県の自然に育まれた県産牛は「山形牛」をはじめとするブランド牛として全国でも人気です。



日本酒

県単位で初めて地理的表示(GI)の指定を受けた山形県の日本酒はやわらかさと透明感が特徴です。

山形県の農林水産業をふるさと納税で応援

山形県では、ふるさと納税の寄附の一部を活用し、基幹産業である農林水産業の振興を図っています。その中でも、県を代表する果物であるさくらんぼの新品種「やまがた紅王」の開発及びブランド化に向けた取組みは、多くの関係者の期待を受けて進められてきました。特長は500円玉サイズを超える果実の大きさや、上品な甘さ、果肉が硬く、日持ち性にも優れる点にあります。

また、農林業の持続的な発展を担う高度な人材の育成のため、令和6年4月開学予定の「東北農林専門職大学(仮称)」のキャンパス整備に関し、用途をあらかじめ明示した寄附募集を行っています。



令和5年に本格デビューを迎える「やまがた紅王」

皆さんの寄附がこんなに役立っています！



東北農林専門職大学(仮称)完成予定図

山形県では次の時代を担うお米や果物等の新品種を開発するため、日々研究に取り組んでいますが、新品種の開発には、試験研究の環境と膨大な時間、そして多くの人の手が必要です。また、安全でおいしい農産物を生産していくためには、栽培技術の開発や、生産者の技術のレベルアップ、生産環境の維持・改善など、様々な取組みが必要です。いただいたご寄附の一部は、全国の皆様により安全でおいしい農産物をお届けするために活用しています。

応援しています！～寄付者の声～

- 山形県と言えばやっぱりさくらんぼです。これからも美味しい果物を全国に届けてください。応援しています！！
- 農業者の高齢化が心配されますが、若い世代や地域の力を育てて、高品質で美味しいものを作り続けてください！

感謝しています！～地域からの声～

- 「佐藤錦」「紅秀峰」に続く期待の大型新人「やまがた紅王」を、国内外の消費者の心をつかむ品種に育てるため、オール山形でブランド化に取り組んでいきます。
- 令和7年には県内でさくらんぼの栽培が始まってから150周年を迎えます。果樹王国山形のPRを通じて、観光交流の拡大などにつなげていきます。